



## 2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月7日

上場会社名 株式会社アバント 上場取引所 東  
 コード番号 3836 URL <https://www.avantcorp.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 徹治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 春日 尚義 (TEL) 03-6388-6739  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年7月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	11,784	11.5	1,837	6.5	1,687	5.0	1,692	5.3	1,018	△1.2
2019年6月期第3四半期	10,565	20.3	1,725	37.8	1,607	41.5	1,607	41.5	1,030	38.7

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 1,024百万円(△1.8%) 2019年6月期第3四半期 1,043百万円(41.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	27.09	—
2019年6月期第3四半期	27.44	—

※EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

(注) 2019年12月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	10,448	6,655	63.7
2019年6月期	10,415	5,898	56.6

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 6,655百万円 2019年6月期 5,898百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年12月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2019年6月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

## 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,480	10.0	2,165	10.1	2,165	9.8	1,353	2.7	36.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2019年12月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年6月期3Q	37,586,982株	2019年6月期	37,570,188株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	2,911株	2019年6月期	2,842株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年6月期3Q	37,577,532株	2019年6月期3Q	37,560,130株

(注) 2019年12月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 8 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2019年10月17日付けで譲渡制限付株式報酬として新株式を発行いたしました。当該新株式発行を反映した期中平均株式数を基に1株当たり (予想) 当期純利益を算定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(セグメント情報等)	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という。）における連結業績は以下のとおりです。

（単位：百万円 [単位未満切捨て]）

	2019年6月期 第3四半期	2020年6月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	10,565	11,784	1,219	11.5
営業利益	1,607	1,687	79	5.0
経常利益	1,607	1,692	84	5.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,030	1,018	△12	△1.2

連結売上高に関しては、ビジネス・インテリジェンス事業およびアウトソーシング事業が大幅に伸長するとともに、連結会計関連事業についても、当連結会計年度は収束方向に向かう予定であった大型案件が追加の売上を伴って継続していることなどから、11,784百万円（前年同四半期比11.5%増）と2桁の成長を実現することができました。

2018年9月に発表した中期経営計画において、経営目標のひとつとして掲げたストック売上（例えばソフトウェアの保守料など、継続的に発生する売上）比率の向上については、連結会計関連事業でクラウド売上が増加するなど、成果が出始めている部分がある一方で、ビジネス・インテリジェンス事業を中心にストック型ではない売上が好調であった影響もあり、総額としては前年同四半期比16.7%増となったものの、売上全体に対する比率としては32.0%とほぼ横ばいとなっております。

利益に関しては、競争力を向上するための報酬水準の向上やオフィスの開設・増床などに伴う費用が増加傾向にあります。増収の影響に加えて、収益性の高い案件の受注、プロジェクト品質や生産性の向上に努めたことなどにより、営業利益1,687百万円（前年同四半期比5.0%増）、経常利益1,692百万円（前年同四半期比5.3%増）と増益を達成しました。しかしながら、前年同四半期には、雇用促進税制の適用などにより法人税等の負担率が低かったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,018百万円（前年同四半期比1.2%減）とわずかながらも減益となっております。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内企業の業績が悪化し、IT投資が抑制される場合、当社グループの経営成績にも重要な影響を及ぼす可能性があります。当第3四半期においては大きな影響は発生しておりません。

各報告セグメントの状況は以下のとおりです。

## ① 売上高

（単位：百万円 [単位未満切捨て]）

	2019年6月期 第3四半期	2020年6月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	6,016	6,330	313	5.2
ビジネス・ インテリジェンス事業	3,784	4,381	597	15.8
アウトソーシング事業	1,199	1,535	335	27.9
セグメント間取引消去	△435	△462	△26	-
連結売上高	10,565	11,784	1,219	11.5

## ② 営業利益

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2019年6月期 第3四半期	2020年6月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	953	1,088	134	14.1
ビジネス・ インテリジェンス事業	546	561	14	2.6
アウトソーシング事業	281	368	87	31.0
全社費用及び当社と セグメントとの取引消去等	△174	△330	△156	-
連結営業利益	1,607	1,687	79	5.0

連結会計関連事業については、期初の段階では前連結会計年度まで大きく売上に貢献していた大型案件が収束方向に向かうと想定しておりましたが、当連結会計年度についても追加の売上を伴って継続しております。大型案件以外の売上も堅調に推移しているため、売上高は6,330百万円（前年同四半期比5.2%増）と増収を実現しました。また、人員増による人件費の増加やオフィスの新設・改修に伴う費用増加など、費用面の負担は増加している一方で、プロジェクト品質や生産性の向上に努めた成果として全体の収益性は改善することができました。これらの結果、営業利益は1,088百万円（前年同四半期比14.1%増）と増益になっております。

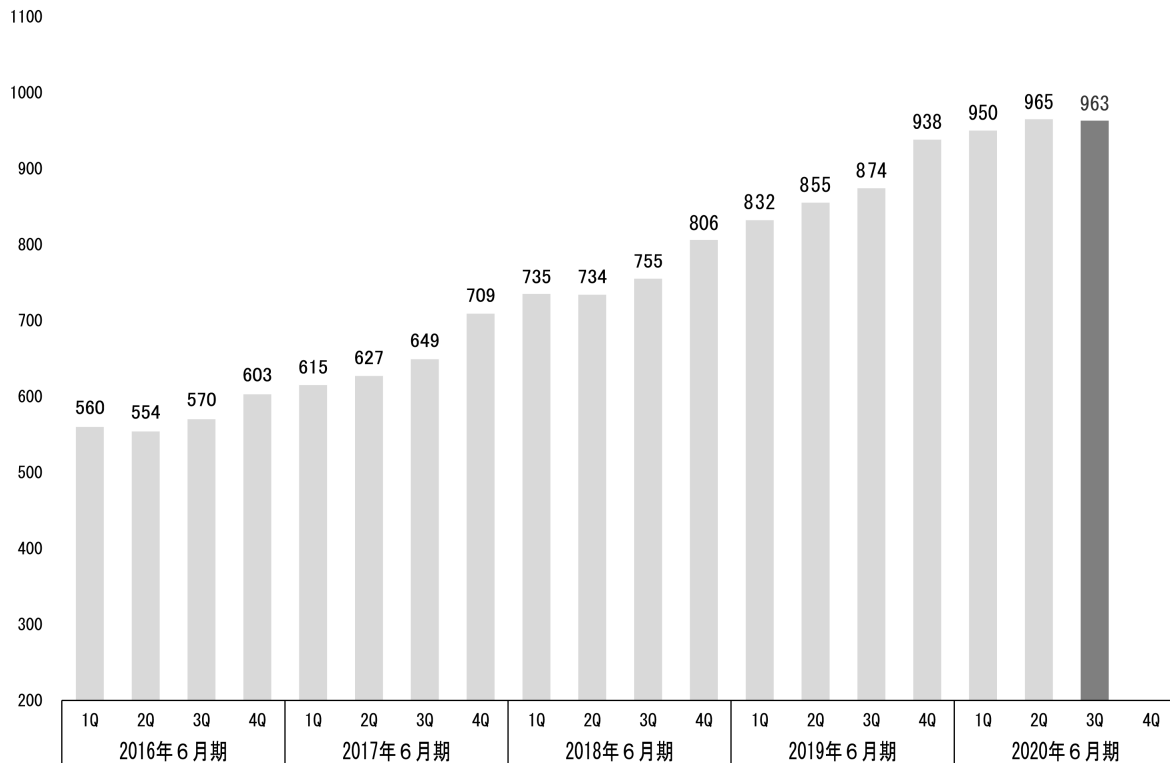
ビジネス・インテリジェンス事業については、デジタルトランスフォーメーション推進の一環として、企業の経営情報の可視化への投資意欲が旺盛な市場動向が継続しており、売上高は4,381百万円（前年同四半期比15.8%増）と大幅に増加しました。一方で営業利益については、報酬水準の向上や人員増加に伴う人件費増加および新オフィスの開設に係る費用の増加などの影響もあり、561百万円（前年同四半期比2.6%増）と、増益幅は小さいものとなっております。

アウトソーシング事業については、グループ・ガバナンス・システムの強化・検討やそれに伴う経理部門の役割の見直しなどを背景に需要が旺盛な状況が継続しており、さらには資金管理などの連結決算・開示以外の分野に関する売上も増加した結果、売上高は1,535百万円（前年同四半期比27.9%増）と大幅な増収となりました。人員増加に伴うオフィスの増床などの費用増はありながらも、営業利益も368百万円（前年同四半期比31.0%増）と、大幅な増益を実現しております。

なお、連結従業員数は当第3四半期末で963名となり、期初から25名増加しております。

### 当社グループ従業員数の四半期別推移

(単位：人)



当第3四半期におけるセグメント別の受注及び販売の状況は次のとおりです。

#### ① 受注実績

(単位：百万円 [単位未満切捨て])

	2019年6月期		2020年6月期		前年同四半期比	
	第3四半期		第3四半期		増減額	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
連結会計関連事業	5,195	1,611	5,846	1,689	651	77
ビジネス・インテリジェンス事業	3,899	1,044	4,103	926	204	△118
アウトソーシング事業	1,122	597	1,573	891	451	294
セグメント間取引消去	△409	△177	△368	△209	40	△32
合計	9,807	3,076	11,155	3,298	1,347	221

#### ② 販売実績

(単位：百万円 [単位未満切捨て])

	2019年6月期		2020年6月期		前年同四半期比	
	第3四半期		第3四半期		増減額	増減率(%)
	受注高	受注残高	受注高	受注残高		
連結会計関連事業	6,016		6,330		313	5.2
ビジネス・インテリジェンス事業	3,784		4,381		597	15.8
アウトソーシング事業	1,199		1,535		335	27.9
セグメント間取引消去	△435		△462		△26	—
合計	10,565		11,784		1,219	11.5

(注) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

四半期毎の売上高及び営業利益の推移は次のとおりです。

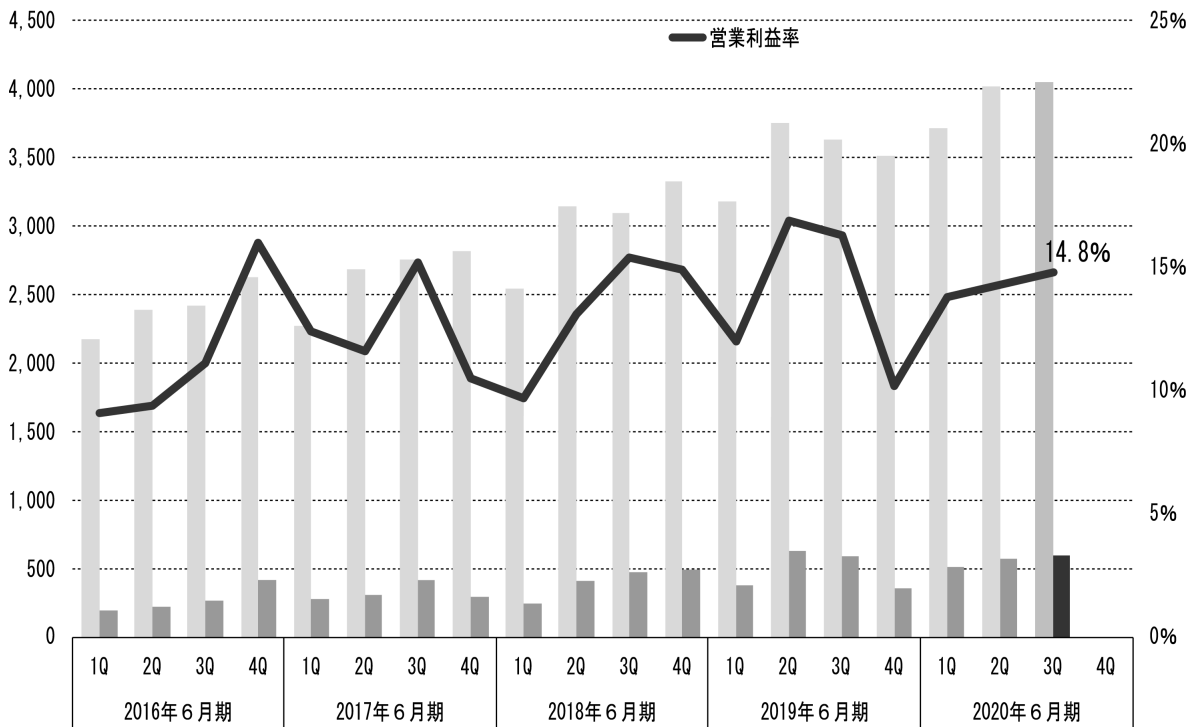
直近4四半期の売上高及び営業利益

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2019年6月期	2020年6月期		
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	3,512	3,714	4,019	4,050
営業利益	358	514	574	598
営業利益率 (%)	10.2	13.8	14.3	14.8

売上高及び営業利益（営業利益率）の四半期別推移

(単位:百万円)



## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は、10,448百万円（前連結会計年度末比33百万円増）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少121百万円などにより流動資産が152百万円減少した半面、オフィスの増床やネットワーク整備などによる有形固定資産の増加217百万円などにより、固定資産が185百万円増加したことによるものです。

一方、負債合計は3,792百万円（前連結会計年度末比724百万円減）となりました。これは主に、未払法人税等の減少283百万円、前受収益の減少365百万円、賞与引当金の減少155百万円などにより、流動負債が823百万円減少したことによるものです。

また、純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益1,018百万円の計上と剰余金の配当281百万円の支払いにより、6,655百万円（前連結会計年度末比757百万円増）となりました。この結果、自己資本比率は63.7%（前連結会計年度末は56.6%）と、前連結会計年度に比べ7.1%向上する一方、有利子負債もなく安定性の高い財務バランスを保っていると考えております。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、5,115百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、467百万円となりました。（前年同四半期は264百万円の獲得）

増加要因の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,692百万円、固定資産の償却費149百万円、売上債権の減少額121百万円、未払金及び未払費用の増加額49百万円であり、減少要因の主な内訳は、賞与引当金の減少額155百万円、前受収益の減少額365百万円、法人税等の支払額926百万円であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、258百万円となりました。（前年同四半期は223百万円の使用）

支出の主な内訳は、オフィスの増床などによる有形固定資産の取得157百万円、ソフトウェアの増加に伴う無形固定資産の取得53百万円であります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、289百万円となりました。（前年同四半期は230百万円の使用）

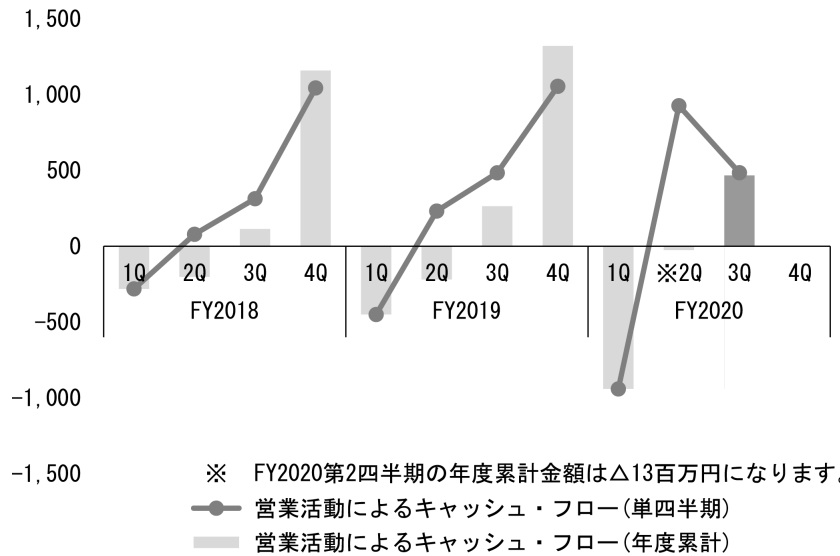
支出の主な内訳は、配当金の支払額281百万円であります。



なお、当社グループでは、法人税等の支払や役員への業績連動賞与の支給などによって第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは低水準となり、第2四半期以降に徐々に増加し、通期で見るとプラスとなるのが通例となっております。連結会計関連事業における保守料やアウトソーシング事業の支払手数料については、役務の提供前に年間分が前払いされることから、元より運転資金が殆ど必要のないビジネスモデルとなっております。反面、ビジネス・インテリジェンス事業は外注費等の支払いが先行するため、売上げが伸びるに従って増加運転資金需要が発生することになりますが、グループ全体の現金保有高に加え、取引各行と総額35億円のコミットメントラインを設定しているところから、現状、資金繰りに懸念はありません。

#### 営業活動によるキャッシュ・フローの四半期別推移

(単位：百万円)



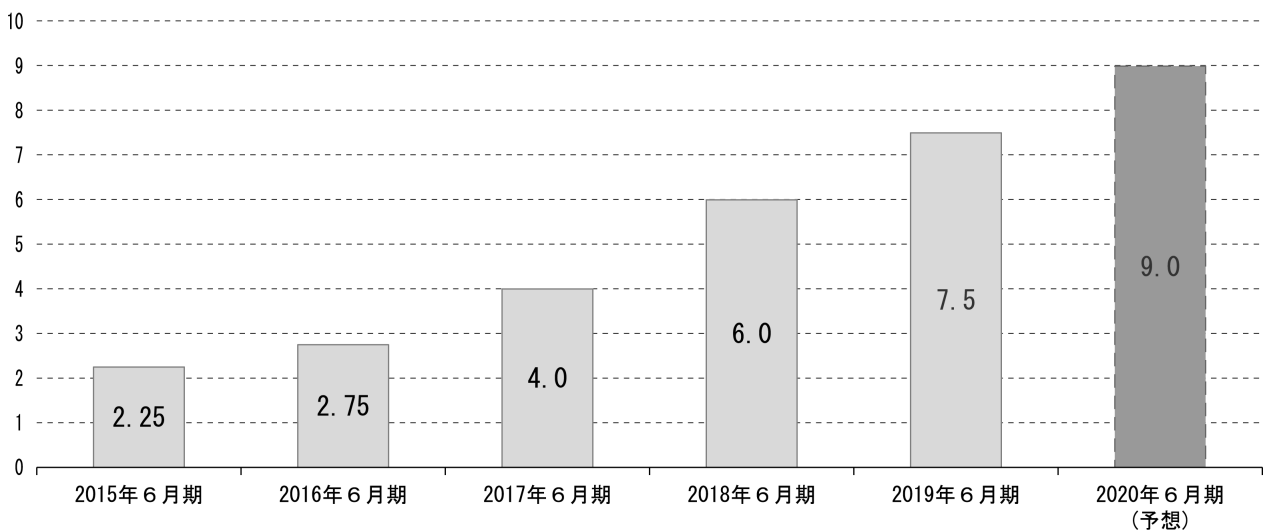
## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では2018年9月に中期経営計画として、2023年6月期までの5ヶ年計画（5年後の達成目標）を発表しました。その2年目となる2020年6月期は、既存3事業を持続的に成長させながら、当中期経営計画の重要な目標のひとつであるストック売上比率の飛躍的向上に向けた各種活動も推進してまいります。これらの結果として、売上高15,480百万円（前連結会計年度比10.0%増）及び営業利益2,165百万円（同10.1%増）の達成を予想しております。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内企業の業績が悪化し、IT投資が抑制される場合、当社グループの経営成績にも重要な影響を及ぼす可能性があります。2020年6月期についてはその影響は限定的であると予想しております。

配当については従来の方針を堅持し、純資産配当率について、全上場企業の平均を常に上回ることを意識しながら引き上げて行く一方で、安定配当（原則、1株当たりの配当金が前期の水準を下回らないこと）を心掛けてまいります。当期の配当については同方針に則り1株当たり9円（2019年12月1日株式分割調整後）を予想しております。

## 配当金の推移（株式分割調整後）

(単位：円)



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,160,507	5,080,468
受取手形及び売掛金	2,525,653	2,404,237
有価証券	—	10,896
仕掛品	178,271	173,119
原材料及び貯蔵品	16,584	16,082
その他	522,747	567,346
貸倒引当金	△5,296	△6,131
流動資産合計	8,398,467	8,246,020
固定資産		
有形固定資産	277,096	494,467
無形固定資産		
ソフトウェア	164,304	156,768
その他	782	754
無形固定資産合計	165,087	157,522
投資その他の資産		
投資有価証券	397,868	407,364
敷金及び保証金	687,567	657,652
繰延税金資産	392,827	345,926
その他	105,906	139,692
貸倒引当金	△9,591	—
投資その他の資産合計	1,574,578	1,550,636
固定資産合計	2,016,762	2,202,626
資産合計	10,415,229	10,448,646

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	511,503	508,696
リース債務	3,515	12,749
未払金及び未払費用	377,355	462,408
未払法人税等	296,693	13,362
前受収益	1,857,288	1,492,108
賞与引当金	723,591	567,980
役員賞与引当金	138,778	137,393
受注損失引当金	60,058	50
その他	379,272	329,742
流動負債合計	4,348,056	3,524,491
固定負債		
リース債務	6,862	41,613
資産除去債務	162,262	226,552
固定負債合計	169,124	268,166
負債合計	4,517,181	3,792,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	295,525	303,271
資本剰余金	232,325	240,071
利益剰余金	5,362,527	6,098,853
自己株式	△404	△476
株主資本合計	5,889,973	6,641,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,067	16,038
繰延ヘッジ損益	3	12
為替換算調整勘定	△2,995	△1,782
その他の包括利益累計額合計	8,075	14,269
純資産合計	5,898,048	6,655,989
負債純資産合計	10,415,229	10,448,646

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	10,565,237	11,784,699
売上原価	5,758,719	6,468,526
売上総利益	4,806,518	5,316,173
販売費及び一般管理費	3,198,858	3,628,688
営業利益	1,607,659	1,687,484
営業外収益		
受取利息	406	327
受取配当金	1,798	3,910
投資事業組合運用益	—	1,557
為替差益	685	266
助成金収入	990	2,220
その他	420	329
営業外収益合計	4,300	8,610
営業外費用		
支払利息	115	452
投資事業組合運用損	960	—
支払手数料	1,987	2,590
株式交付費	942	413
損害賠償金	120	—
営業外費用合計	4,126	3,457
経常利益	1,607,833	1,692,637
特別利益		
受取和解金	31,200	—
特別利益合計	31,200	—
税金等調整前四半期純利益	1,639,033	1,692,637
法人税、住民税及び事業税	657,229	630,759
法人税等調整額	△48,927	43,796
法人税等合計	608,302	674,555
四半期純利益	1,030,731	1,018,081
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,030,731	1,018,081

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	1,030,731	1,018,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,028	4,971
繰延ヘッジ損益	△6	9
為替換算調整勘定	515	1,213
その他の包括利益合計	12,537	6,193
四半期包括利益	1,043,268	1,024,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,043,268	1,024,275
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,639,033	1,692,637
減価償却費	117,465	149,561
株式報酬費用	2,375	6,144
貸倒引当金の増減額(△は減少)	909	△8,756
賞与引当金の増減額(△は減少)	42,488	△155,611
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△52,852	△1,384
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△2,930	△60,008
受取利息及び受取配当金	△2,205	△4,237
支払利息	115	452
支払手数料	1,987	2,590
株式交付費	942	413
損害賠償金	120	—
受取和解金	△31,200	—
投資事業組合運用損益(△は益)	960	△1,557
助成金収入	△990	△2,220
売上債権の増減額(△は増加)	△566,099	121,423
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,233	5,653
仕入債務の増減額(△は減少)	127,115	△2,807
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	113,010	49,172
前受収益の増減額(△は減少)	△350,184	△365,179
その他	7,637	△38,394
小計	1,022,466	1,387,893
利息及び配当金の受取額	2,358	4,555
利息の支払額	△115	△452
損害賠償金の支払額	△120	—
和解金の受取額	31,200	—
助成金の受取額	990	2,220
法人税等の支払額	△792,510	△926,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,267	467,976
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	33,780	—
有形固定資産の取得による支出	△69,868	△157,636
無形固定資産の取得による支出	△22,280	△53,774
投資有価証券の取得による支出	△90,911	△10,870
敷金及び保証金の差入による支出	△72,663	△35,286
敷金及び保証金の回収による収入	138	3,009
保険積立金の積立による支出	△4,459	△4,459
その他	2,750	317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△223,515	△258,699
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,542	△5,104
支払手数料の支出	△1,878	△2,562
自己株式の取得による支出	△27	△71
配当金の支払額	△225,295	△281,755
その他	△942	△413
財務活動によるキャッシュ・フロー	△230,686	△289,907

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	1,482
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△189,978	△79,148
現金及び現金同等物の期首残高	4,566,875	5,195,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,376,897	5,115,988



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	連結会計関連事業	ビジネス・インテリジェンス事業	アウトソーシング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,995,997	3,742,717	826,523	10,565,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,000	41,424	373,425	435,850
計	6,016,997	3,784,141	1,199,948	11,001,087
セグメント利益	953,892	546,939	281,374	1,782,207

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,782,207
当社とセグメントとの取引消去額	523,117
全社費用(注)	△686,878
その他	△10,786
四半期連結損益計算書の営業利益	1,607,659

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	連結会計関連事業	ビジネス・インテリジェンス事業	アウトソーシング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,316,284	4,361,537	1,106,877	11,784,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,500	19,745	428,132	462,377
計	6,330,784	4,381,282	1,535,009	12,247,077
セグメント利益	1,088,237	561,198	368,656	2,018,091

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,018,091
当社とセグメントとの取引消去額	514,752
全社費用(注)	△846,499
その他	1,139
四半期連結損益計算書の営業利益	1,687,484

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。